





取組概要

NO	取組内容、成果、PRポイント	SDGsのゴール
1	<p>【3Rの推進】</p> <p>1. 製造工場・建設現場・学校・その他事業所で発生した金属（鉄・非鉄）スクラップや使用済み自動車を有価物として買取り、大型処理設備で破碎・選別・切断・圧縮などの加工処理後に、電気炉メーカー（製鋼所）に製鋼原料（再生金属原料）として販売しています。金属スクラップを買取・加工処理・販売という商業ベースに立脚した持続可能なリサイクル活動を行っています。</p> <p>2. 工場等で使用しなくなった工作機械や工具類を買取った場合は、必要とする事業所に販売することでリユースを推進。また鋼材や鋼板でリユースできるものは処理設備で加工せず、自社構内の防護壁や構内敷鉄板として再利用しています。</p> <p>3. リサイクル処理における選別作業時に発生する残渣を再度細密に選別する設備の導入を進めています。このことにより今まで発生していた残渣の量を減少させるとともに、リサイクル率のUPも図れます。</p>	
2	<p>【廃棄物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様自ら産業廃棄物をお持込みいただくだけでなく、お客様の事業所まで弊社のトラックで収集、弊社工場まで運搬するサービスも行っています。 ・大型処理設備で破碎・選別・切断・圧縮を行い、金属類等の有価物は回収してリサイクルに、リサイクルできないものは100mm以下程度に細粒化して埋立処分場や焼却処分場へ排出しています。 ・廃棄物選別をより細密に選別する設備の導入を進めており、廃棄物の量を減少させ、廃棄物からの有価物回収率のUPを計画しています。 ・新型コロナウイルス禍においても通常営業を続け、廃棄物の収集・運搬・処理を継続して行うことで地域社会に貢献することができました。 	
3	<p>【人材育成・環境学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要業務である鉄スクラップの再生利用においては、鉄鋼石から鉄を生産するよりもCO2発生量が約1/3に抑えられること（CO2発生量が鉄生産1トン当たり1.39トン抑制）を従業員が周知するとともに、広くお客様にもお知らせするためにCO2マイナス1.39tバッジとステッカーを従業員に配布、装着しています。 	
4	<p>【気候変動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場内で使用している電力は、ほぼ100% 再生可能エネルギー由来の電力で地球温暖化（CO2）の抑制を図っています。 ・鉄鋼石から鉄を1トン生産する場合CO2は約2トン強発生するが、鉄スクラップを原料とする電炉で生産する場合CO2は約0.6トンしか発生しません。弊社の主要業務である鉄リサイクルはCO2抑制に大きく貢献しています。 ・さいたま緑のトラスト基金に参加して、埼玉の優れた自然及び貴重な歴史的環境を県民共有の財産として後世に残すための活動の一端を担っています。 	

他社の環境SDGsの取組に貢献する製品・サービス等

内容	SDGsのゴール
<p>丸栄では金属（鉄・非鉄）スクラップをお客様から買取り、加工処理後に製鋼所等に販売しています。鉄スクラップは鉄筋・鉄骨等に、非鉄スクラップは工業製品等に生まれ変わってリサイクル使用されます。特に鉄スクラップをリサイクルして生産された電炉鋼は、鉄鉱石から鉄を生産する高炉鋼に比べてCO2排出量が1/3です（鉄生産1トン当たりCO2発生量 高炉鋼：約2トン強／電炉鋼：約0.6トン → マイナス1.39tCO2）。</p> <p>金属スクラップ以外の廃プラスチック等の産業廃棄物は最終処分場で焼却処分されますが、その際に発生する熱で発電を行っています（サーマルリサイクル）。</p> <p>丸栄であれば、金属（鉄・非鉄）スクラップと廃プラスチック等産業廃棄物処理の両方のリサイクル処理が可能です。</p>	